

本時のねらい

・さまざまな職業について調べ、興味を広げる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・タブレットを使い、EduTownというサイトの活用を通して出会った職業や将来就きたいと思っている職業についてまとめる。
・集めた情報を自分なりに文や図などを使ってkeynoteにまとめ、プレゼンテーションすることができる。

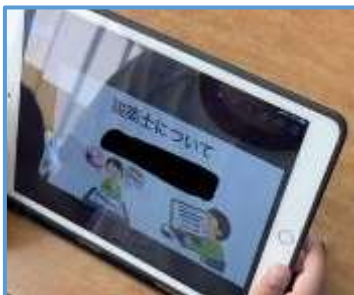
活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・keynote
- ・ブラウザ（Edutown あしたね）
- ・大型モニター
- ・Google クラウド

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○教員が作ってきた見本を見て、本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">めあて：将来の夢をまとめよう</div> ○Keynoteを活用したまとめ方の説明を聞く。	・Keynoteを使うことへの活動の見通しを持てるように、教員が作った見本を見せる。 ・自分のすぐ近くでも確認できるように児童のタブレットにも教員が作った見本を送信する。
展開 (25分)	○今まで調べてきたことをもとにKeynoteを使ってまとめる。 (職業名、なりたい理由、仕事内容、キャリアマップ、感想) ・友達の作品をお互いに見る時間を設け、調べた職業やKeynoteの使い方について交流する。	・Keynoteの様々な機能（豊富なレイアウトや文字スタイル、写真の加工など）を試すよう促し、プレゼンテーションを編集することができるようにする。
まとめ (10分)	○今日の成果を共有する。 (うまくいったことや、発見した使い方など)	・成果を共有する際は、友だちの編集のよさを見つけ、自分が思い浮かばない表現にも気づくことができる。また、仕事内容についても気になったことは質問する。

1人1台端末を活用した活動の様子



将来の夢である「建築士」について調べて分かったことをまとめている場面



キャリアマップをスクリーンショットしてKeynoteに貼り付けている場面



Keynoteの使い方、職業について交流している場面

児童生徒の反応や変容

- ・友達と交流することで様々な職業について知ることができ、他の職業に興味を持って調べ始める児童の姿も見られた。
- ・キャリアマップを調べ、将来どのような進路を進んでいくのかを考え、「〇〇大学に行くために勉強頑張ろう」と他の学習に意欲的に取り組めるようになった児童がいた。
- ・プレゼンテーションを作りながら、疑問に思ったことをタブレットを使って、すぐに検索し、さらに調べ、深く考えることもできるようになり、資格について調べている児童もいた。
- ・強調したいところにアニメーションをつける際、試行錯誤しながら作ることができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・職業調べをすることで様々な職業に興味を持ち、自分の可能性を広げる目的で行った。そこから自分の周りにある職業について考える機会となった。キャリアマップを利用することで自分の将来の夢の道筋がわかり、今自分が頑張れることに焦点を当てることができた。
- ・Keynoteにある豊富なレイアウトや機能の中から、想像を広げながら自分のなりたい職業のイメージに合うプレゼンテーションを作ることができる。
- ・友達のプレゼンテーションを鑑賞することで、自分ができなかった表現をクラス全体で共有することができ、技能の向上につながった。